

日々相々

三重県の平成27年地価調査結果が発表された。あついで、最近関心のある南北に長い三重県の地価動向(変動率)は、二極化が進んでおり、北部では上昇や横ばい、または下落率の縮小した地点が見られる一方で、南部ではほとんどの地点で下落が続いており、下落率が拡大した地点も見られた。

津市も市町村合併により東西に広くなり、中心市街地、その周辺、農山村ではそれぞれ異なる地価動向が見られるが、特に農山村の下落が気になる。土地を保有する人にとって、地価の下落は資産価値が減少することであり、換金価値や担保価値の減少でもある。税負担の面からは下落を望む人もいるかもしれないが、地価の下落が続くと経済も縮小方向に進むため好ましいことではない。地価調査結果の詳しい内容は、三重県や国土交通省のホームページに譲るとして、これから自然的原因(気候災害)、社会的要因(人口・高齢化)、経済的要因(所得成長)、行政的要因(法規制)の作用もある。難しい話はこれくらいにして、今社会問題になっているのに「空き家」がある。今後、人口は更に減り続けるので、このままでは空き家はもっと増える。空家を放置している原因の一つとして住宅地の固定資産税の軽減措置をあげているが、人々も空家を買いたい、借りたい人を見つけてあげようというもので既に各地で実施されている。もとも歴史的な町並みの残る地域にある町屋の保存と活用を目的として考え出された町屋情報バンクが、町屋だけに限らず広く空家として、その活用を推進するための仕組みとして用いられるものがある。登録物件には改修費の補助があったりすることから、市街地の空家であれば比較的容易に買手が現れることも期待できるが、農山村については、進捗も遅い。軽減措置のなくなった空家は、そのまま放置してびっかない。とはいえ、津市美杉町のほか県内数カ所に空家情報バンクがあり、これまでほとんど取り組まなかったところでも毎年数件の成約があるのは、それなりに需要がある証しであり、もう一歩を上げて情報量を多くすれば、新たな市場が広がるかもしれない。

空の家と非耕作地の対策について思うこと



鈴木 茂基

増える。空家を放置している原因の一つとして住宅地の固定資産税の軽減措置をあげているが、所有者に聞くと、このことが話題になって初めて軽減措置を知った人が意外と多く、地域的に、また法規制のために処分(売却)したくてもなかなか買手が付かず、費用がなから取り壊しでもできない人がほとんどである。国は、空家を放置している原因の一つとして住宅地の固定資産税の軽減措置をあげているが、人々も空家を買いたい、借りたい人を見つけてあげようというもので既に各地で実施されている。もとも歴史的な町並みの残る地域にある町屋の保存と活用を目的として考え出された町屋情報バンクが、町屋だけに限らず広く空家として、その活用を推進するための仕組みとして用いられるものがある。登録物件には改修費の補助があったりすることから、市街地の空家であれば比較的容易に買手が現れることも期待できるが、農山村については、進捗も遅い。軽減措置のなくなった空家は、そのまま放置してびっかない。とはいえ、津市美杉町のほか県内数カ所に空家情報バンクがあり、これまでほとんど取り組まなかったところでも毎年数件の成約があるのは、それなりに需要がある証しであり、もう一歩を上げて情報量を多くすれば、新たな市場が広がるかもしれない。

NPO津市スポーツ協会の立役者！

長谷川会長がスポーツ功労者表彰

平成27年度生涯スポーツ功労者表彰式が13日(火)、津市役所を会場に、前業泰幸市長に報告した。長谷川会長は同協会の前身である津市体育協会の理事から43年間、常任理事、副理事長、副会長、会長などを歴任したNPO法人津市スポーツ協会の長谷川之快会長が13日(火)、津市役所を会場に、前業泰幸市長に報告した。長谷川会長は同協会の前身である津市体育協会の理事から43年間、常任理事、副理事長、副会長、会長などを歴任したNPO法人津市スポーツ協会の長谷川之快会長が13日(火)、津市役所を会場に、前業泰幸市長に報告した。

津のまちの歯医者さんからメッセージ

ナカノ歯科のちよっと気になる情報

vol.80

10月9日から続く「インプラント」以外のかぶせ物を作る場合、保険で治療することが出来ます。かぶせ物は限られてきます。特に女性の方は歯肉の腫れが強いのですが、大きな奥歯はいわゆる銀歯でしか治せません。また前歯のかぶせ物も、一種のプラスチック素材ですので、変色や磨り減ったりもします。最終的に自分かというものを希望するのには、良い話を聞いて決定してください。ただ歯の腫れや痛みを合わせに保つて、保険が自費かにかかわらず、危険である場合には希望に添えないこともあります。やはり治した限りはその治療が長期にわたって安定することと治療に携わる者として

ナカノ歯科クリニック

日曜診療致します

休診日/月曜・金曜・祝日

津市観音寺町446-68(中野ビル1階)

電話 059-213-7770

FAX 059-213-7767

http://www.3cn.ne.jp/~nkano/dc/

前業市長は「43年間の貢献に尊敬の念を抱き、普及、指導の評価」

お礼を申し上げたい。国体を成功に導くため、6年後に向けて指導者の強化を行っていくと話した。



長谷川会長(右)が功労者表彰状を受け取る様子

税関職員らがキャンペーン

今月は薬物および銃器(スタム君)も応援に駆けつけました。

税関四日市税関支署津出張所は名古屋通関業会四日市支部と共に13日(火)、津駅東口で薬物および銃器取締強化月間街頭キャンペーンを行いました。

薬物・銃器許しません！

税関職員らがキャンペーン

今月は薬物および銃器(スタム君)も応援に駆けつけました。

税関四日市税関支署津出張所は名古屋通関業会四日市支部と共に13日(火)、津駅東口で薬物および銃器取締強化月間街頭キャンペーンを行いました。

第4回安部コスモスまつり

竹の紙鉄砲に夢中！

秋の実りを楽しむ

「爽々第4回コスモス祭り」が12日(月)祝、ピクニックや、黄色のコスモスの花が満開となった津市安部町安部の休耕田とその周辺で開催された。好天に恵まれ、地元民や近郊から約300人の家族連れらが参加し、咲き誇るコスモスをめぐる秋の楽しみを堪能した。

オンスジウム

黄色く、ひらりとした花びらが好ましい。

オンスジウムの花が今盛り、無造作に本が並ぶ机の上を美しく飾る。今日その色の美しさに目を奪われ、私は急ぎ、四季の彩り、という本を取り出し開いてみた。花言葉が「あきらみ」。日本には明治時代に入ってきて、しかし

きつ、空家も非耕作地も減り、過疎化の抑制にもなり、高齢化率も下がり、農業従事者も増え、農村環境も改善し、地価下落の防止にもなり、三方も四方もよし、といった具合になるかもしれない。

また、空家の中には築後相当期間を経過したのも多い。そこには格子戸の残る町屋、立派な土蔵のある農家住宅、茅葺屋根の建物、旅籠や養蚕をやっていた建物などを見つけたりする。

築後50年を経過した建物で、一定の基準を満たせば国の登録文化財として登録できる道が開ける。実際空家の再生・活用を進めていく中で登録文化財として登録された建物もあり、空家対策は、文化的価値のある建物の発掘、活用という面で、文化財行政や観光・まちづくりと関連付けられるのも面白い。

今は、空家も少し手をかけて「リノベーションして」「古民家」と称すれば需要が生まれ、人が集まる場所となり、廃材も「古材」と称すれば商品になったりする時代だ。ネーミングには人の心を動かす魔法がある。空家情報バンクも「古民家情報バンク」にするだけで利用が増えるかもしれない。

市街地を中心として動き出した空家ビジネスや国土交通省が進める中古住宅の流通促進が、農山村まで浸透するのはなかなか難しいと思うが、せめてこの先、空家の放置が続いても、建物の取壊費用を土地代でまかなえるくらいの地価であってほしい。そうしないと、負の遺産として誰も買わないし、誰も相続しなくなる。

そして、空家を取り壊した後の更地が、今度は耕作放棄地のようになり、雑草が茂り原野化していかないように願っている。

(コクド鑑定・調査株式会社 代表取締役社長・不動産鑑定士)

にも農地をいっしょに処分したいという人もあり、いろいろな地域を探してみると「農地情報バンク」という制度もあった。

そこで引かかるのが農地法の規制(誰でも自由に農地の取引ができないこと)である。高齢化が進み、農地を相続しても耕作できる者がほとんど減っている農山村にあって、農地法の規制は、農地を取得して農業をしたという新規参入者を制限し、結局は農家を減らすことになり、農地を処分の拡大を促進しているように思えてならない。

空家対策に合わせ、誰でも自由に農地の取引ができる仕組みや特区をつくることはできないのか？同時に、市街地調整区域でも移住希望者が自由に住宅の建築ができるような規制緩和をすればいい。

モスをめぐる秋の実りを楽しんで。

「人と人との出会いを大切にしたい」と、安部区と農業資源や農村環境の保全を目指す安部集落活動組織が共催。今年も風水書でコスモスの栽培面積は減ったが、伝承遊びや振る舞いなどがあり、大にぎわい。

遊びゾーンは輪投げや竹馬遊び、防災体験、コスモス畑ではコスモス塗り絵、メダカすくい、サツマイモ掘り、木曾駒の乗馬があった。

なかでも、紙鉄砲と鉄砲作りはちびっ子たちに大人気。子どもたちは作った鉄砲で的に挑戦。

オンスジウム

黄色く、ひらりとした花びらが好ましい。

オンスジウムの花が今盛り、無造作に本が並ぶ机の上を美しく飾る。今日その色の美しさに目を奪われ、私は急ぎ、四季の彩り、という本を取り出し開いてみた。花言葉が「あきらみ」。日本には明治時代に入ってきて、しかし